

病院の救急科に行く必要がありますか？それとも近くの医師で間に合いますか？

Do you need a hospital emergency department – or can your local doctor help?

病院の救急科の役割について明確に知っておくことは大切です。救急科の役割は、交通事故や心臓発作などの緊急を要する重症患者と、それほど緊急でない症状を持つ患者の両方に対処することです。病院の救急科の働きと、救急科以外でどんな医療サービスを利用できるのかを知っておくと、待ち時間の短縮につながり、治療をより早く受けることができます。救急科の待ち時間は、貴方の症状がどれだけ緊急な治療を要するかに左右されます - より重大な問題を抱える人の方が、それほど緊急な治療を要さない人よりも優先されます。

アドバイスや治療を受けるためには、病院の救急科以外にどこに行けばいいでしょう？

医療サービスを受ける必要がある時に、最初に相談に行く相手は、通常、GP(General Practitioner)と呼ばれる一般開業医です。多くのGPは、長時間開いている(24時間開いている所もある)メディカル・センターで働いています。緊急ではない問題がある時に、救急科ではなく、GPのいる所に行けば、治療を受けるまでの待ち時間は少ないですし、病院の救急科の負担を軽減することにもなります。また多くの地域では、コミュニティ・ヘルス・センターがあり、トレーニングを受けた医療従事者が様々なサービスを無料で提供しています。より詳しい情報は、最寄りのコミュニティ・ヘルス・センター(Community Health Centre)にご連絡ください(電話帳のCで探す)。

救急科に着くと、どんな対処がされますか？

まず受け付けに行き、トリアージ・ナース(triage nurse)と呼ばれる専門看護婦に会います。貴方には通訳を依頼する権利がありますので、必要な場合には、病院のスタッフにすぐに知らせてください。

受け付けでは次の情報を求められます：

- メディケア・カード(若しくは、ヘルス・カード)
- 氏名、住所、主治医の氏名などの詳細。これは、病院のスタッフがこれまでの治療経緯を知るために役立ちます。

トリアージ・ナースとは、専門的なトレーニングを受けた医療従事者で、必要な治療の緊急性によって、救急患者の優先順位を決めることを仕事としています。救急科の医師や看護婦と同様に、専門的資格を有し、救急看護に関する特別なトレーニングを受け

ている医療従事者です。場合によっては、医師が患者を診る前に、これら看護婦が患者の治療を始めることもあります。

救急科に行った場合には、どれくらい待たなければなりませんか？

病院の救急科では、医師と予約を取ることはできません。長く待っている人よりも早く医師の治療を受ける人がいるのは、その人の症状がより重症だからです。救急車で病院に運ばれたというだけでは、すぐに医師の治療を受けることにはなりません（より緊急な治療を要する問題を抱えた患者が他にいる場合には）。この他、待ち時間が長い理由には次のことが考えられます：

- 患者の症状を完全に把握するために必要な情報を入手中である。例えば、貴方の症状についてより詳しく知るために、X線やテストを受ける必要があるのかもしれない。
- 入院が必要な場合には、ベッドの確保に数時間かかる場合もあります（その間、適切な看護は受けます）。

待っている間、何をすべきでしょう？

- 患者には、医師の診察を受けるまでは飲食しないようにという指示が病院のスタッフからある場合があります。気分が悪かったり、症状が変わったりした場合には（または気分が良くなり、帰りたい場合には）、トリアージ・ナースに知らせましょう。
- 病院にいる間は、病院のスタッフの指示に従いましょう。スタッフを補助すれば、スタッフは最良のケアを提供することができます。

救急科は、ストレスレベルが高い場所であることを忘れないようにしましょう。スタッフは最も緊急を要する患者を優先するというプレッシャーの下で働いています。心配だったり、治療の遅れにいらいらしている場合でも、看護婦に暴力を振るうなど、救急科のスタッフに対して攻撃的な行動をとることは許されません。怒ったり、患者やその家族が騒いだりすることは、さらに遅れを悪化させることになるだけです。

救急科を出た後は？

病院は、患者に対して継続的な治療について説明し、次にいつ医師の診察を受けるべきかについて指示を与えます。診断書や、患者の症状や治療についての文書が必要な場合には、病院を出る前に病院で依頼しましょう。

英語で電話をすることが困難な方は、電話 131 450 の翻訳・通訳サービス (TIS: Translating and Interpreting Service) をご利用下さい。

マルチカルチュラル・コミュニケーションのホームページでは、本書以外にも日本語の保健関連情報をご覧いただけます：<http://mhcs.health.nsw.gov.au>

電話番号は本書出版時有効ですが、継続的に更新はされませんので、電話帳で番号を確認する必要があるかもしれません。